

科目名	映画史			科目コード	0228
開講学科	共通専門科目	単位数	4	形態	講義
教員名	重政隆文				
授業の目的及びテーマ					
映画の歴史に、近代日本の歴史を重ねることによって、映画芸術が時代とどう関わってきたかを考える。 映画を鑑賞することと、その映画が作られた時代に思いを馳せたい。					
授業概要					
テキストは、その後、増補版が出て、『日本映画史 110 年』となっている。21 世紀に入ってから映画史、現代史にも目を通していただきたい。また、映画史を一人で執筆するのは最初から無理があるので、教科書だけでなく、他の人が書いた映画史にもできるかぎり接していただきたい。時代を追いながら、映画を追いながら、映画と時代の関わり合いについて考える。さらに、現代の映画館でかかっている映画を映画史の中に置き、過去の作品や過去の状況とどのように関係しているかについても一考をお願いする。新作は急に出てきたものではないのだから。					
授業計画					
第 1 回：日本映画の特徴 第 2 回：活動写真 第 3 回：無声映画の成熟 第 4 回：最初の黄金時代 第 5 回：戦時下の日本映画 第 6 回：植民地・占領地における映画制作 第 7 回：アメリカ占領下の日本映画 第 8 回：第二の全盛時代へ 第 9 回：騒々しくも、ゆるやかな下降 第 10 回：衰退と停滞の日々 第 11 回：スタジオシステムの解体 第 12 回：インディーズの全盛へ 第 13 回：フィルムからデジタルへ 第 14 回：新しい技術革新の導入 第 15 回：総括					
テキスト	四方田犬彦『日本映画史 100 年』		参考文献		
評価方法：					
通信授業は提出課題 4 件を以って評価する 面接授業は受講態度、授業中提出物などにより総合的に評価する。					